

「地域で支えあう若年性認知症」PART19 ～脳科学で理解する認知症の人の世界～

◆恩蔵絢子氏プロフィール

脳科学者。専門は自意識と感情。2007年(平成19年)、東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻後期博士課程修了(学術博士)。現職、東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。

著書に『脳科学者の母が、認知症になる』(河出書房新社)、共著に『なぜ、認知症の人は家に帰りがるのか』(永島徹との共著、中央法規)、『化粧する脳』(茂木健一郎との共著、集英社)、訳書に『ドーパミン中毒』(新潮社)、『生きがい』(新潮社)、『顔の科学』(PHP 研究所)がある。

同居する母親が、2015年(平成27年)にアルツハイマー型認知症と診断され、以来娘として生活の中で表れる認知症の症状に向き合ってきた。一方で母を脳科学者として客観的に分析することで、医者/患者、科学者/被験者という立場で研究するのは違った認知症の理解を持つにいたり、情報を発信している。高齢者の創造性に強く関心を持つ。

◆当法人の若年性認知症支援事業

2009年(平成21年)、東京都より3年間、若年性認知症支援モデル事業を受託。本人・家族・地域啓発活動の三本柱を軸に若年性認知症支援事業を展開し現在に至る。

○フリーサロンあしたば(介護保険外事業)

若年性認知症専門デイサービス。若年性認知症・高次脳機能障害等、認知症の診断があり、65歳未満の方が通所対象。週3日、定員各6名、1F専用スペースにて実施中。

○家族会「あしたば会」定例会

原則毎月第4土曜日13時30分～15時30分
対面とオンラインの組み合わせあり。

○若年性認知症カフェ「あしたばカフェ」

偶数月第3日曜日13時30分～15時30分
会場:当苑1F予定 ※オンラインとの組み合わせあり。

○若年性認知症相談支援窓口(西葛西熟年相談室なぎさ和楽苑)

電話(直通) 03-3675-1236
9時～18時(月～土) ※日・祝日・年末年始を除く



FAX 参加申込用紙

FAX 番号 03-3675-1203

※必要事項をご記入の上お申し込みください。

メール申し込み → ashitaba@tokyoeiwakai.or.jp

※下記必要事項をメール本文へご記入ください。

ふりがな

氏名： _____

住所： _____

(所属/事業者名等)

連絡先： _____

お問合せ

社会福祉法人東京栄和会 なぎさ和楽苑

担当 萩原・池田 03-3675-1236